

サーバー管理基準

Webエンジン対応アプリケーション維持用サーバーの運用管理基準をまとめました。基本的には、Webサーバー機能のみを管理するようにしてください。

サーバー管理基準を、以下のように致します。

【対象サーバー】

hn51d3

【管理フォルダ】

¥UAP 以下のフォルダ

それ以外は、使用禁止とします。

【フォルダ構成】

```
¥¥hn51d3¥uap =====
    |== bin                // バッチファイル
    |== Build              // エンジンのビルドソース
    |== DOC                // マニュアル、ドキュメント等
    |== users              // ユーザー毎のテンポラリフォルダ
    |                      |== qmis
    |                      |== light
    |                      |== zw
    |== webapps            // インストールするアプリケーション
    |                      |== qmis
    |                      |== light
    |                      |== zw
```

users は、テンポラリとして用意いたしますが、あくまで一時ファイルの格納場所という使い方を想定しています。

webapps は、WEBアプリケーションの基準フォルダになり、それ以下のフォルダは、TOMCAT より自動スキャンが行われています。JSPのソース等のWebアプリケーションに必要なファイル以外（例えばドキュメント等）は、極力置かないようにご注意願います。

【推奨管理方法】

このサーバーのフォルダは、最新のJSPファイルのみを置くようにしてください。開発サーバーが、別に用意されているとベストです。また、本番環境のDBサーバーに配置するようなファイルは置くべきではありません。Webサーバーは、バックアップする必要のない静的なファイルを配置しますので、マスターからコピー運用できる作りがベストです。

このサーバー上で、正式な画面を作成し、OKであれば、CD-Rに焼き付けて本番リリースするという運用形態を想定しています。

【その他】

webapps 以下のフォルダで開発する場合に、JSPファイル等をバックアップする場合は、backup**** で始まるフォルダか、ファイルにしてください。定期的に、その名称のファイルは、自動的に移動させますので、webapps には常に最新のJSPファイルのみが管理されるように運用いたします。